

## 令和元年度 各会計決算認定案を認定 令和2年度補正予算（総額3億1,036万円）を可決

12月  
定例会

令和2年第7回12月定例会は11月30日から12月22日まで開催され、議案43件を審議し、採決を行いました。

また、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



自民クラブ

堀江 幸 二議員



- (一般質問)
- 1 市政運営の方向性について
  - 2 新型コロナウイルス感染症について

ワクワク度日本一のまち  
第2ステージの抱負は？

問

市長就任第2期目に当たり、どのような抱負を持って市政運営に臨もうとしているのか。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の落ち込みや財政調整基金の取り崩しに加え、将来的には起債償還額の増加も予想されるが、本市の財政予測についてどのように考えているのか。

答

都市間競争が激しさを増す中、第2期目は「勝ち残るまち西条」を実現するための重要な4年間になると思っている。厳しい財政状況を踏まえ、将来世代に過度な負担を残すことのないよう、覚悟を持って抜本的な行財政改革を進めるとともに「地域活力の源泉は産業にあり」の考えを念頭に置きながら、決して縮こまることなく、西条らしさを前面に出した取組を推進していきたいと考えている。

本市の財政環境については、新型コロナウイルス感染症の影響により法人市民税及び個人市民税の減収が見込まれるとともに、コロナ禍がまだ

終息を見せず、景気動向も不透明なことから、更に厳しさを増すと想定される。一方、道前クリーンセンターの基幹的設備改良をはじめ、小・中学校の長寿命化改修や給食施設の整備など、市民生活に不可欠で、将来に必要な投資として避けては通れない多くの課題に加え、財政調整基金についても、多発化・激甚化する災害の備えとして、一定額を確保しておく必要がある。じゅうぶんな財源確保の見通しが立たない中での財政運営は、非常に厳しい見通しであると認識しているが、多くの課題解決や市民の安全・安心のために備えることを使命として、新任期に臨みたい。



基幹的設備改良を行う道前クリーンセンター

井上 浩 二議員



- (一般質問)
- 1 学校給食の今後の在り方について
  - 2 小松中央公園グラウンドゴルフ場のいのしし被害について

給食センターの整備方針は？

問

平成31年2月に今後の学校給食の在り方について、西条市学校給食運営検討委員会における検討結果を基に、庁内の検討委員会でも更に検討を行い、令和2年11月19日に西条市学校給食施設整備基本計画の方向性を取りまとめた。現在、学校関係者に

順次説明を行い、意見を聴取していると聞けが、建設場所や敷地面積、特徴や整備目標など、どのような方針で施設整備をしようと考えているのか。